



# 取扱説明書

この度は、当社の商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。この取扱説明書は捨てないで大切に保管してください。

## 使用上の注意

- 用途以外のご使用はお止めください。**誤った使用方法、本製品以外(木の板など)に起因する事故・破損に関しまして、当社は一切の責任を負いかねます。ご理解の上ご使用ください。
- 組み立てた商品を踏み台の代わりに使ったりしないでください。**安定を崩し、倒れてケガをすることがあります。
- 組み立てた商品を移動する時は引きずったり、落としたりしないでください。**ケガや破損・床面にキズをつける原因になります。
- 素材には耐久性の高いポリアミドを使用していますが、使用環境により劣化する場合がございます。**
- 直射日光や熱、冷暖房機の強風などが当たらないようにしてください。**変形・変色、また火災の原因となることがあります。
- 商品は床面の平らな場所に水平になるように置いてください。**
- 床面がフローリングや畳などの場合は、敷物などを引いてご使用ください。床面のキズ防止になります。**

デザイン例や組立て方のコツ、木材の選び方など、  
PLAYWOODをより詳しく知ることができる  
専用ページはコチラ

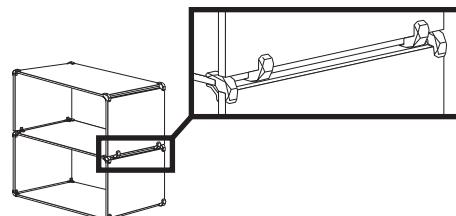


PLAYWOOD JAPAN

必ずお読みください

## 組立の注意事項

- ⚠️ 2段・3段のシェルフなどを作る場合は、ボックス型を作った後に、図のように重ねて作成してください。**



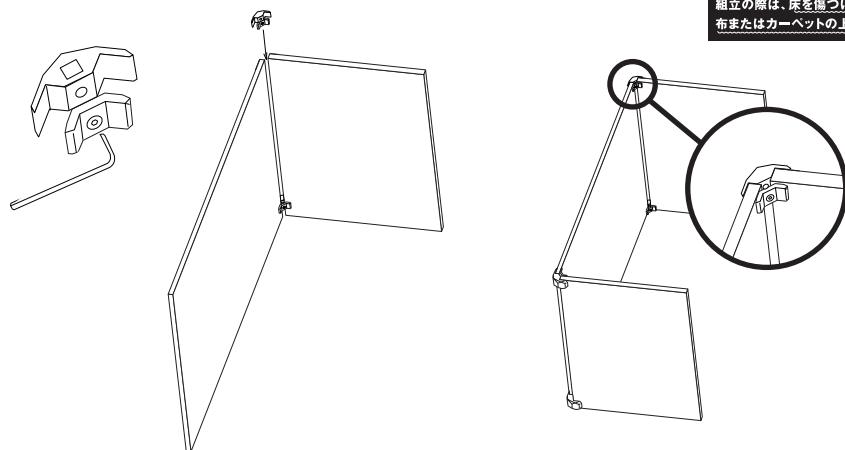
## 保守・点検

- 🚫 お客様による修理、及び改造はしないでください。**  
商品の強度を弱め、破損やケガの原因となることがあります。
- ⚠️ ボルト類はゆるみやグラツキが無いか時々点検し、ゆるみ始めていたら、しっかり締め直してください。**

## 1 ボルトを緩め、両サイドに板をはめ込む

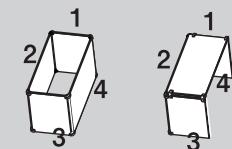
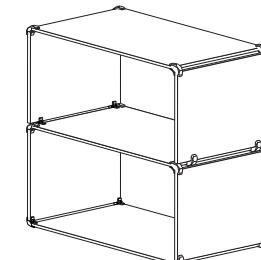
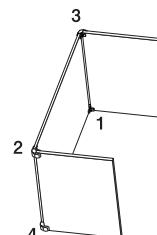
\*板がPLAYWOODの奥にはまっていることを確認して締めてください。スキマがあると歪みの原因になります。  
\*最初からきつく締め込むと、全体に歪みが生じやすいため、仮止めにしてください。

組立の際は、床を傷つける可能性がありますので  
布またはカーペットの上で作業を行ってください。



## 2 全てのPLAYWOODを取りつけ、全体に歪みの無い状態になったら、全PLAYWOODを最後まで締め込む

\*全てのPLAYWOODを9割程度まで締め込んで、最後に図の番号のように、対角線に本締めを行うと歪みが生じにくくなります。  
\*T型レンチは強い力をかけられるため、強すぎてネジが破損する恐れがあります。組立てやすいので仮止めには便利ですが、本締めには使用しないでください。



### [注意]

腰掛けや踏み台、本棚など重量が掛かるデザインの場合は、底板を付けてボックス型にす  
るか、背板(4枚目の板)を取付けて側板の広がり防止をしてください。

## Components 組立に必要なもの

六角レンチ(5mm)



木材(厚さ15mm~19mm)



## サイズ検討時の注意点

PLAYWOOD本体は、板より合計35mmはみ出しますので、板のサイズはこの分を差し引いたサイズでカットしてください。





# 材料のカットサイズの決め方

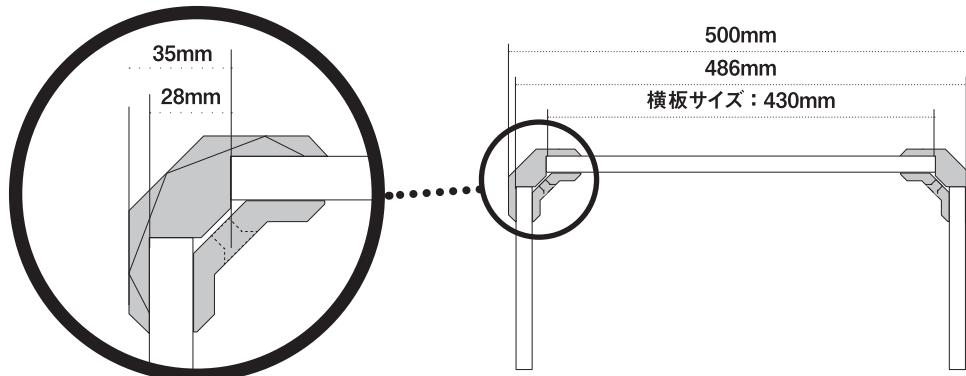
PLAYWOOD接合部は下図のようになるので、これを考慮して材料をカットします。

完成サイズにPLAYWOODの厚みを含める場合は、35mm(左右合計70mm)小さく材料をカットしてください。

PLAYWOODの厚みを含めない場合は、28mm(左右合計56mm)小さく材料をカットしてください。

## 例:横幅500mmの場合

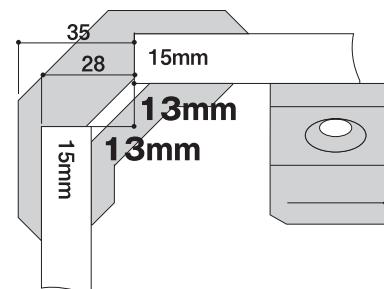
(PLAYWOODの厚みを含む)



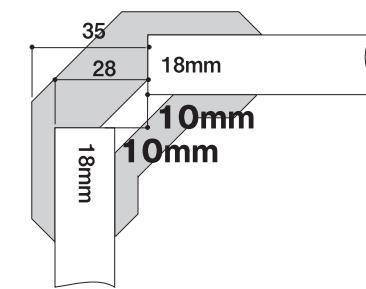
## 板厚による内寸の変動

使用する板厚により、仕上がりの内寸が変わります。

### ■板厚15mmの場合



### ■板厚18mmの場合





# 木材の基本

ホームセンターなどで多く販売されている大判の板は「三六判(さぶろくばん)」と言い、横 $\approx$ 1820mm・縦 $\approx$ 910mmの大きさです。

木材の種類は、以下の4種類が一般的に手に入りやすいものです。

MDF

合板

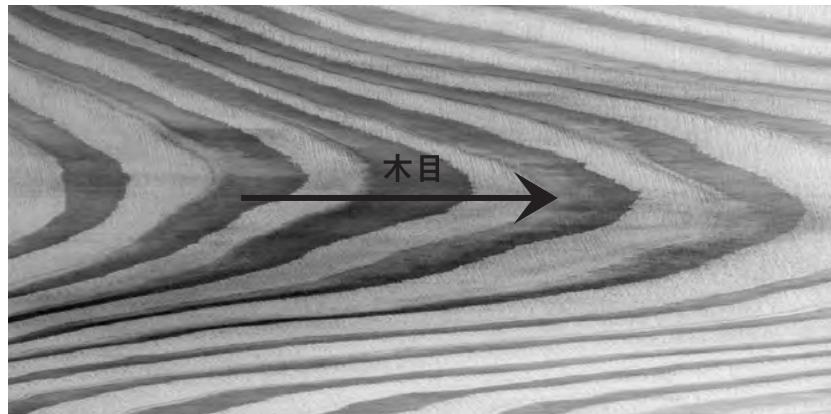
ランバーコア

集成材

## 木材には「木目」があります。

MDF以外の木材は樹木を加工して作っているので木目があります。

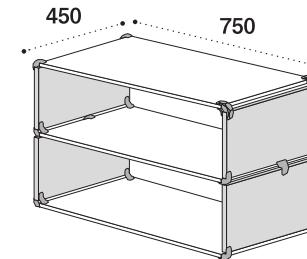
図のように、長い方向に木目が走っており、この向きができあがりの強度にも関わってきます。



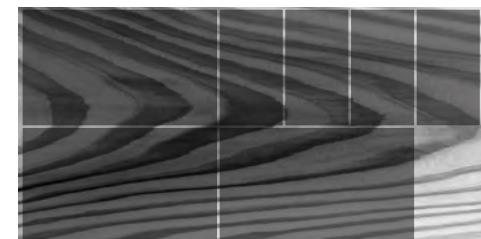
木目を長く使った方が強度が出るので、基本的には、長い面では長く木目が出るように、側面など縦に荷重がかかる面では縦に木目が出るように使用します。

## 木材を活かした強度が増すカット方法

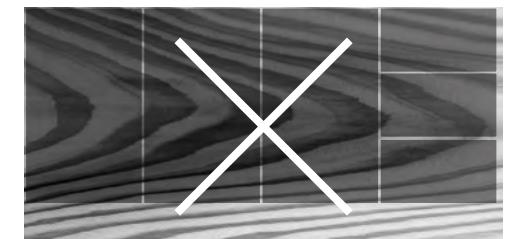
このような棚を作成する場合は、下図のようにカットします。



好ましい例



好ましくない例





# 材料の特徴と、オイル塗装について

## 材料の特徴

ホームセンターをはじめ、通販でもお好きなサイズにカットをしてくれる販売店が増えています。

ここでは手に入れやすい代表的な材料について説明します。



**【MDF】**木材を繊維にまで粉碎したのち、接着剤で固めた再生材。ネジが効きにくく、フックなどの取り付けは不可。比較的安価な材料。

**【ラワン】**多くの構造材に使われており、やや白っぽいものや裏が赤みを帯びた材料もある。木肌が粗く、ザラとした素材感が特徴。

※合板とランバーがある。

**【シナ】**木目は薄く表面が滑らかでめ細かいのが特徴。少しだけ黄色味を帯びた白っぽい表面は、強い木目もなく見た目もキレイ。

※合板とランバーがある。

**【パイン】**マツ科の樹木で成長が早く、リサイクル可能な木材で地球環境に優しい素材。少し黄色がかったナチュラルカラーで家具にも多く使われている。



**【合板(ベニヤ)】**薄く剥いだ木材(ベニヤ板)を、木目を縦横互に重ねて接着してあり、割れたり折れたりしにくい強度がある。側面の木材の層が魅力。

**【ランバーコア】**芯材に比重の軽い木材、表面にベニヤ板を貼った材料。軽量かつ、強度もある。芯材も木材なのでネジも効く。合板よりも安価。

**【集成材】**小さめにカットした木材を縦横に接着して板状にしてある。一枚モノの無垢板に比べ、安価で反りや割れを減らすメリットのある材料。

## 簡単なオイル塗装の紹介

ハードルが高く感じる塗装は、オイル仕上げをおすすめします。ハケで塗ったあとに布で拭きあげたり、専用のスポンジを使うことで塗りムラがなくなります。自分で好きな色に塗ればオリジナリティあふれる自分だけの家具が完成します。



**【MDF】**カラーが付きやすく、無塗装と全く違った見え方になります。一度塗ってすぐに布でふき取ると繊維が透けて見え、ベタ塗りより質感が出ます。



**【シナ】**クリアーを塗ると表面が黄色かかるため、薄いホワイトを塗ると素材のままのキレイな色味に仕上がります。茶などの濃い色は木目が強く出るので、明るい色で木目も生かしてカラフルな仕上げもおすすめ。

**【パイン】**小さい材を集成してあるので、濃い色を塗ると素材ごとに濃淡が目立つ感じになります。ホワイトや薄いピンク系のオイルを塗ると、白木のように仕上がります。